

編集後記

11月30日は、初等部の収穫感謝祭でした。今年も正面に各学年が育てたかぶ、大根、里芋、さつまいも、正月菜、お米、ゆず…を飾り感謝の礼拝をしました。小さな小さな一粒の種のどこにその力があるのかと驚くばかりです。また来年収穫ができるように畑の準備が始まります。知るからこそ感謝の心が育つと思います。

今回の「畑の発表会」は、「子どもたちが主役」を先生たちが肝に銘じて学習を進めました。その様子が充分にお伝えできるのではないかと嬉しく思います。

初等部 高橋 出

今回の男子部の学業報告会は、2年前に引き続き「主体的な学び」を目的として、各自でテーマを選び、学年の枠を超えて取り組みました。この指導記録を通して発表に至るまでの過程をご覧いただければ幸いです。

男子部 山縣 基

女子部の学業報告会では、「主体的に、よく考えて学ぶ」を大切にしました。今年の新しい取り組みとして、高1、2年は、学年を越えて自分で選んだテーマに属し取り組んだ。報告会では、生徒達が学びの過程を大切にしながら、報告を築き上げることができた。これからの女子部のカリキュラムを見据えた、実りある学びプログラムの指導報告となったことを嬉しく思う。

女子部 星住 リベカ

今号には、2年中断していた最高学部の卒業研究・卒業勉強のタイトルと報告会の概要を掲載した。2015年度から最高学部は、オープンアクセスのオンラインジャーナル『生活大学研究』を刊行し、そのニュース欄にもその年の卒業研究・卒業勉強について記事を掲載している。発信媒体が『年報』と『生活大学研究』とに増えたこともあり、学園らしい研究のさらなる進展と社会的発信を今後も続けていきたい。

最高学部 奈良 忠寿